

総務・企画・公室常任委員会 資料1
令和4年(2022)年11月24日
総合企画部高専設置準備室

(仮称)滋賀県立高等専門学校の検討状況について

総合企画部高専設置準備室

○ 人材育成→地域・産業への技術実装→技術への関心・憧れ、という好循環の創出に挑む

目指す学校像：
すべての人と地球を
支え続ける技術を磨く学校



- 滋賀県立高等専門学校(仮称)は、「次代の滋賀を支える高等専門人材の育成」および「地域における技術者育成・交流のハブとなる学校づくり」を目的とする。

設置目的 ◎ 次代の滋賀を支える高等専門人材の育成



滋賀県立高等専門学校
(仮称)

滋賀県立高等専門学校(仮称)においては、これからの滋賀を支える価値創造力と専門性、実践力を兼ね備え、協働して挑む高等専門人材を育てていくことを目的とする

◎ 地域における技術者育成・交流のハブとなる学校づくり

滋賀県立高等専門学校(仮称)においては、技術を通じてあらゆる世代の人々が行き交い、様々な学びと実践の機会を提供する場として、地域の産業および社会に貢献していくことを目的とする

設置意義

学生

◎ 様々なキャリアパスにつながる学びの提供

産業界のニーズや今後の社会動向を踏まえた技術人材の育成に向け、情報技術をベースとした多様な学びが可能となる環境を整備することで、様々なキャリアパスにつなげることができる

産業界

◎ 共創による産業の活性化

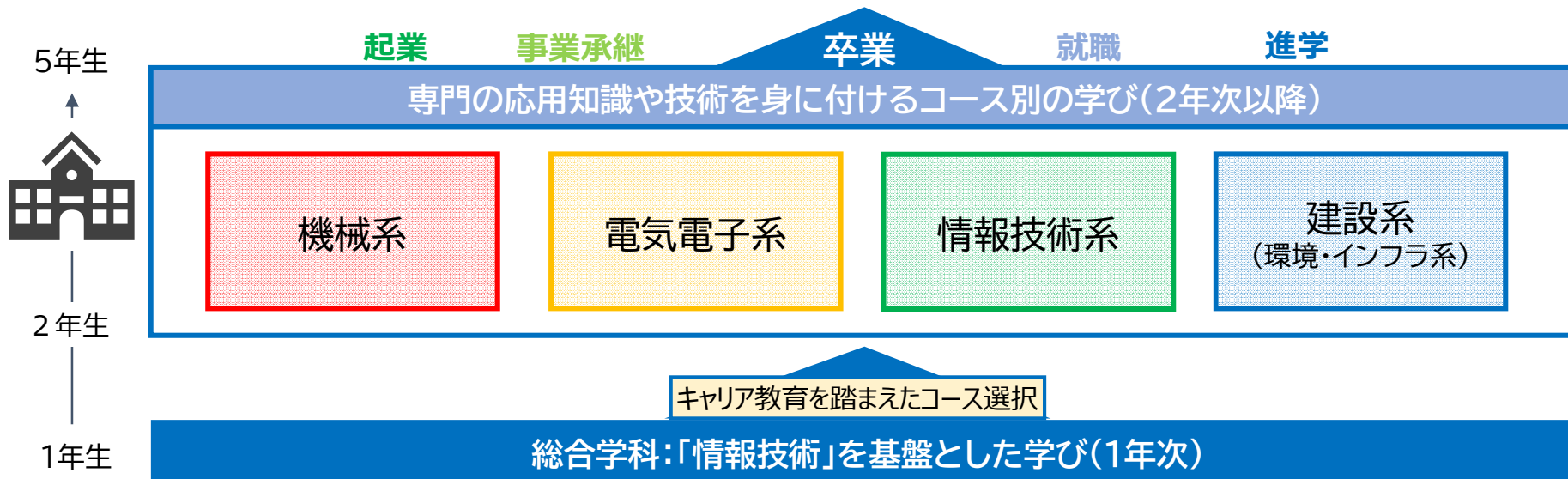
産業界との共創を実現することで、地域に根差しつつ世界を見据えた高度な技術人材の輩出や新たな産業の創出など、産業のさらなる活性化につなげることができる

地域

◎ 地域と地球の課題の解決

リカレント教育の提供や地域と地球の課題の解決に向けた協働取組の実施など、高専という場を通して人や技術、課題の対流を生み出すことができる

○ 1学科4コース制:1年次は情報技術の考え方を基礎として学び、2年次以降、これに掛け合わせる形で、機械系・電気電子系・情報技術系・建設系の専門コースにより応用専門知識・技術を身に付ける柔軟な学び



一つの分野の学びだけでなく、意欲に応じて他の専門分野を掛け合わせ、さらに専門以外の多様な学びにつながる柔軟な学習環境を提供

| 学びの提供イメージ例 | | | | 卒業後の活躍領域イメージ例 | |
|-------------|-------|-------|-----|---------------|---------------|
| 関連する学びの専門分野 | | | | 地域や大学との連携 | |
| 機械系 | 電気電子系 | 情報技術系 | 建設系 | | ロボティクス |
| 機械系 | 電気電子系 | 情報技術系 | 建設系 | | スマートファクトリー |
| 機械系 | 電気電子系 | 情報技術系 | 建設系 | + 地域エネルギー | 自然エネルギー |
| 機械系 | 電気電子系 | 情報技術系 | 建設系 | + モビリティ・防災 | 建設DX、インフラ維持管理 |
| 機械系 | 電気電子系 | 情報技術系 | 建設系 | + 農林水産業の課題 | 衛星データ活用 |
| 機械系 | 電気電子系 | 情報技術系 | 建設系 | + データサイエンス | スマート農林水産業 |
| 機械系 | 電気電子系 | 情報技術系 | 建設系 | + 看護・医療 | 起業、分析研究 |
| 機械系 | 電気電子系 | 情報技術系 | 建設系 | | デジタルホスピタル |

※複数の専門の学びを掛け合わせて学習することができることを前提として検討を進めるものの、具体的な内容や方法は今後検討を進める

- 高専の有する人材及び技術や設備の提供を通じた様々な連携を行うことで、地域や産業に対して、技術者の育成・交流の場を創出することが可能



学校機能: 高等専門人材育成機能

+ 技術者育成・交流のハブ機能

(技術をテーマとした「広場」をつくるイメージ)

地域や産業に向けて学校が提供したい3つの要素







| | | |
|---|--|---|
| A | <p>アクセス 学びを通じた「人々」の交通と交流</p> | <p>高専生・教員×社会人×小中学生等 (幅広い年齢層、他の教育機関)</p> |
| C | <p>コンテンツ 多様な主体による「学び」の豊かさ</p> | <p>学校教育×民間教育×社会教育 (3つの教育)</p> |
| T | <p>ツール 機材／道具を「使う機会」の提供</p> | <p>知識×技術×実践から 評価・改善へのサイクル</p> |

【アクセス×コンテンツ×ツール】による様々な出会いと対話の場＝「広場」
「広場」に多様な人々が集うしかけとして、特に3つの教育の視点で検討



「広場」から生まれる様々な発想、実践、価値創造を滋賀と関係地域に還元することで、より魅力のある地域(暮らし・働き・学びの場)へ

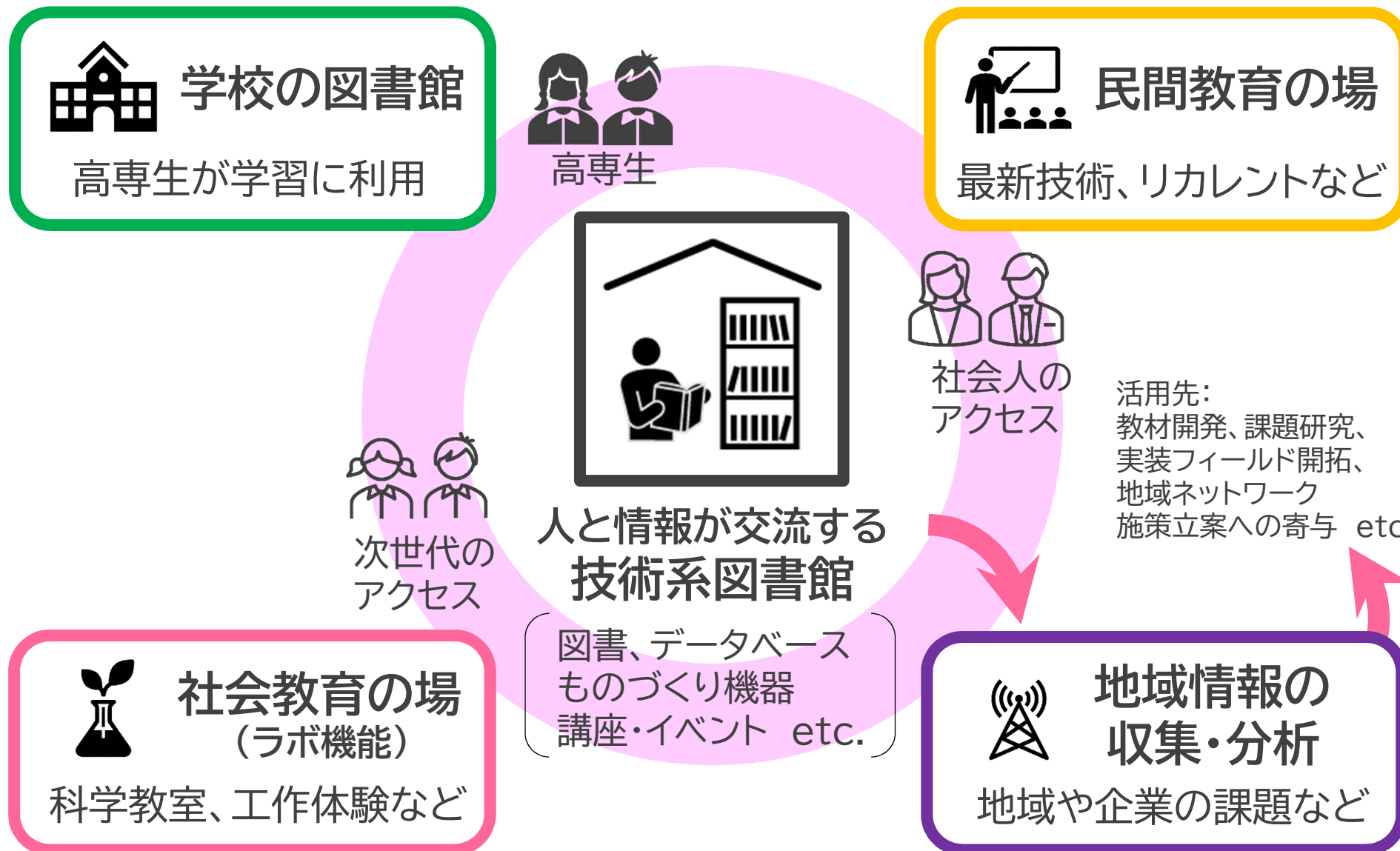
- 学校教育に必要な施設とともに、社会人や若年者をはじめ地域住民が利用できる施設を併設
- 想定施設規模は延床面積18,000㎡程度＋学生寮(1,500㎡程度想定)
- 隣接する国有地に市が整備する河川防災ステーションの機能を一体的に活用する

| 種別 | | 詳細 |
|--------|---|--|
| 校舎 |  | 教室、特別教室、情報技術演習室、CADルーム、各種実験室、ラーニングcommons、教員室、事務室等 |
| 実習工場 |  | 各種工作機械、実習設備等 |
| 学生寮 |  | 各居室、交流ラウンジ等 |
| 体育施設 |  | 体育館、グラウンド、テニスコート等 |
| 図書情報施設 |  | 図書館、講堂、ファブラボ、セミナー室、展示空間、自習室、音響・撮影スタジオ、産学共同センター等 |
| 福利厚生施設 |  | 食堂、売店等 |

6. 地域や産業との連携・連動(ハブ機能)：【例】図書館施設の活用

7

- 高専の図書館を地域住民にも開放し、技術を軸とした学生×社会人×次世代人材の交流を促進併せて、地域や企業の課題等、地域独自の情報を収集・分析し、産業・教育施策の立案にも寄与



○ 学生寮については県内外、国外を含む遠方からの学生確保のため設置する。現在、敷地内への設置や、民間施設の利用等の可能性も含めて調査・研究中であり、整備手法については様々な可能性を探る。

- 学生寮は50人規模程度を想定
- 留学生にも対応できる国際寮タイプ(※)とする
- バリアフリー対応の居室を設ける
- 寮生以外も利用可能な交流ラウンジを設けることで、寮生の多様な日常交流を創出し人格形成および学習効果の向上を図る(敷地内設置の場合を想定)
- 整備手法については引き続き様々な可能性を探る

※日本人学生も入寮可。留学生との混住型で、国際交流を促し、国際的な視野を持つ実践的で創造性のある技術者の養成を目的とする。多様な生活文化、食文化への対応として共用のキッチンを備え、寮生以外との交流やカラーニングのスペースも備える。

○ 施設整備費 約101億円を想定(今後の建築物価の変動分を除く)

単位:百万円

| | 構想骨子時点 | 現時点 |
|-------|--------|--------|
| 施設整備費 | 7,200 | 7,450 |
| 校舎その他 | 7,200 | 6,950 |
| 学生寮 | 未計上 | 500 |
| 設計管理費 | 360 | 300 |
| その他 | 2,440 | 1,950 |
| 機械設備費 | | 1,700 |
| 外構 | 2,440 | 250 |
| グラウンド | | 0 |
| 用地関係費 | 未計上 | 400 |
| 合計 | 10,000 | 10,100 |

※今後の建築物価の変動分は実績により適宜反映
 ※グラウンドについては野洲市が河川防災ステーションとして整備

- 運営費については現在精査中であるが、全国の類似高専の平均値等から、年間7億円程度の収支差額が見込まれる(地方交付税措置額を除いた場合3億円程度)

単位: 百万円

| | 構想骨子時点 | 現時点 |
|------------------------|------------|--|
| A:収入 | 200 | 運営費については、現時点で詳細に見込むことが困難であることから、構想骨子時点の金額(9億円)をベースに削減率を算定する。 |
| 授業料・入学金等(国立高専と同額として算出) | 150 | |
| 外部資金等 | 50 | |
| B:支出 | 900 | |
| 人件費(教員、職員) | 700 | |
| 維持管理費(物件費) | 200 | |
| 収支差額(A-B) | 700 | |
| (うち、地方交付税措置見込額) | 400 | |
| (地方交付税措置見込額を差し引いた額) | 300 | |

10. 整備手法

○ 一定の施設整備費、維持管理費の削減が見込まれることから、PFI手法による整備が望ましい。

単位:百万円

| | | 従来方式 | PFI(BTO) | PFI(BT) |
|-------------------|-----------|--------|----------|---------|
| 業務 分担 | 施設整備(寮除く) | 法人 | SPC | SPC |
| | 機械設備整備 | 法人 | 法人 | 法人 |
| | 維持管理(清掃等) | 法人 | SPC | 法人 |
| | 学校運営 | 法人 | 法人 | 法人 |
| 施設整備費(寮除く) | | 6,950 | 6,742 | 6,742 |
| 機械設備費 | | 1,700 | 1,700 | 1,700 |
| 維持管理費(物件費等)(15年間) | | 3,000 | 2,865 | 3,000 |
| 運営費(人件費等)(15年間) | | 10,500 | 10,500 | 10,500 |

※学生寮の整備については、引き続き様々な可能性を探ることとする。